

令和4年度天皇誕生日祝賀レセプションの開催

令和5年2月22日、伊藤在エチオピア大使と堀内 AU 代表部大使は、天皇陛下の63歳の誕生日を祝うレセプションを開催しました。

今回の天皇誕生日祝賀レセプションは、2020年の新型コロナウイルスの蔓延以降、3年ぶりに人数制限を撤廃し、新型コロナウイルス対策に万全を期しながら開催され、約300人以上の参加者が、寿司、おでんや日本酒等、様々な日本料理を楽しみました。

歓迎の挨拶で、伊藤大使は、昨年11月の合意以降、エチオピアにおける和平プロセスが着実に実施されてきている点に触れ、紛争被害者に対する継続的な支援及び復興支援を呼びかけました。また、今年4月から開始予定の国民対話にも触れ、同取組の重要性について理解を示し、我が国も追加的支援を検討していることに言及しました。さらに、今後約2年間、国連安全保障理事会の非常任理事国を務め、今年G7の議長国となる日本にとって、2023年は「平和」が重要なテーマであり、平和の象徴的な場所である広島で開催されるG7サミットでは、世界に対して平和のメッセージを伝える機会となることに触れました。

続いて、鏡開きが執り行われ、酒樽を木槌で割る際に会場からは大きな歓声が上がりました。

その後、堀内大使による乾杯の挨拶では、TICAD8が開催された2022年を振り返りつつ、2023年においては、日本がG7の議長国及び安保理非常任理事国であることから、アフリカの声を聞き、意思疎通を行い、グローバルな課題の解決に向けて尽力していくとして、その過程で、多国間主義も強化していきたい意向を示しました。



伊藤大使による歓迎の挨拶



鏡開きの様子



堀内大使による乾杯の挨拶



日本食の提供

(了)